

株主の皆様へ

株主通信

第75期【中間期】

2019年4月1日～2019年9月30日

Challenge for Change 2025

～変革への挑戦～



サンメッセ株式会社

証券コード 7883

社会から愛される企業で

今後も企業価値向上に向けた
事業活動を積極的に
推進してまいります。

サンメッセ株式会社
代表取締役社長

田中 尚一郎



あり続ける

売上高	78億71百万円
営業利益	15百万円
経常利益	90百万円
親会社株主に帰属する四半期純利益	69百万円

株主の皆さまには、平素よりご高配を賜り厚く御礼申し上げます。第75期上半期の業績につきましては、**売上高78億71百万円**（前年同期比8.8%増）、**営業利益15百万円**（前年同期は営業損失1億11百万円）、**経常利益90百万円**（前年同期は経常損失45百万円）、**親会社株主に帰属する四半期純利益69百万円**（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失61百万円）となりました。ペーパーレス化に伴う市場全体の需要減少や価格競争の激化による印刷単価の下落が続いておりますが、当上半期においては、**カタログや圧着はがき、パッケージ製品などの受注増加**、また官公庁からの**イベント事業の受託増**などを背景に、前年同期比において**増収増益**という結果となりました。昨年度より、「事業領域の拡大」と「営業エリアの拡大」をアクションプランの中心に掲げ推進してまいりましたが、昨年5月に新設した新宿支店、また今年4月のIPS^{*1}・パッケージ本部の設立が業績に寄与しております。これまで様々なビジネスの種を蒔いてまいりましたが、ようやく花が咲き始めたと考えております。しかしながら、決して満足できる成果ではありません。持続的な成長をする上で、常に何をすべきかを考え、社員一丸となって取り組んでまいります。

商業印刷×デジタルで新たなビジネスフィールドを追求

当社グループは今年度より、創業90周年にあたる2025年に向けた新たなスローガン「**Challenge for Change 2025 ~変革への挑戦~**」を掲げ、2035年の100周年に向けた“ありたい姿”を意識した中長期経営を推進しております。当社の基盤ともいべきコア事業である**商業印刷事業を堅持・伸長することに今後も注力**したと考えておりますが、もちろん紙媒体だけを追求するだけでは時代の流れから取り残されてしまうと考えております。当社の強みであるペーパーメディアを中心に、データベースやWeb、SNSなど、**最先端のデジタルメディアを組み合わせることで、お客さまに新たな付加価値をご提供**し、ビジネスを拡げていきたいと考えております。

※1 IPS (Information Processing Service) …企業の重要情報や個人情報など、一点一点内容を変えて印刷するサービス。セキュリティを万全にした専用エリアを設置し、ダイレクトメールから契約書類、金融書類、請求書類、給与明細など、高度で多彩な情報加工を実現しています

印刷のみしかできない会社、デジタル媒体を専門とする会社は世の中にたくさんありますが、当社はその両方を自社内に有していることが強みであると考えております。また今期、改めて**品質保証体制の強化**にも取り組んでおります。品質保証室を立ち上げ10年以上経ちましたが、設立当初と比較すると当社の品質レベルは格段に向上しております。品質が良いのは当たり前であり、さらに保証対策も拡充することで、特にIPSやパッケージなどの**新たなビジネス領域に挑戦**したいと考えております。

進化を続ける成長戦略事業

今年4月、当社では初めて、営業部門と製造部門を一つの組織として構成した**IPS・パッケージ本部を新設**いたしました【P5に関連情報】。個人情報を扱うIPS事業は2次委託ができない業務ですが、製販一体の組織としたことで、営業が社内の生産能力を把握でき**計画的かつ戦略的に案件を受注**できるようになりました。また高度な仕様設計を求められる業務でもあることから、**最適なワークフローの構築も実現**しました。今後の事業拡大を前提に市場分析、設備機器の拡充など、事業計画の見直しを進めたいと考えております。

同じく4月、コーポレートコミュニケーション事業とICT*2事業の**スペシャリストで構成する新たな部署**を立ち上げました。企業のコーポレートコミュニケーション活動にとって、デジタルメディアの活用はもはや必須ですが、コンサルティングや情報開示支援のサポートに**ワンストップでお応えできる専門性の高い部門**として、多くのお客さまから高い評価をいただいております。またESGやSDGsなど、企業のサステナビリティ経営に関して、より高度な知見に基づく提案を求められる傾向が強くなっておりますが、今年5月にサステナビリティ経営を中核とする調査研究、情報の集積、発信を行う組織として、**サンメッセ総合研究所「Sun Messe Innovative Network Center (略称:Sinc)」を創設**いたしました【P6に関連情報】。コンサルティング業務を核とするSincは、当社初のビジネスモデルであり、当社にとって新たなチャレンジの一つです。私自身も楽しみであり、株主の皆さまにもぜひご期待いただきたいと思います。

今後も当社は、成長事業への戦略的重点投資を行い、印刷に偏らぬ新しいビジネスの創造、新しい考え方のビジネス展開に積極的に取り組んでまいります。

※2 ICT (Information and Communication Technology) …Webを効果的・効率的に利用したマーケティング分析から、Webサイトや動画を中心とした幅広いデジタルコンテンツ制作まで、ICTビジネスをトータルに推進しています

次代を担うリーダーを育成

これまでも人財育成については積極的に取り組んでまいりましたが、今期、新たに**次世代のリーダー育成を目的とする「社長塾」**という人財育成プログラムを実施しております。「当社が90周年、100周年を迎える時、こんな会社であってほしい。そのために会社を変えていきたい」。このような想いのある社員を塾生として社内公募の上、選抜いたしました。「社長塾」との名称ですが、私が何かを教える場ではありません。今期中を目処に現在、**企業経営の根幹となる「サンメッセ・フィロソフィー」**を作成してもらっておりますが、当社が永続的に成長をしていく上で、大切なことは何か、どう変わっていかなければならないか。**常に自ら考え、行動に移すことのできるリーダーを育成**する場として取り組んでおります。



企業としての責任を果たすべくSDGsに取り組む

2015年に国連で持続可能な世界を実現するために採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に積極的に取り組むことを当社は宣言いたしました【P7に関連情報】。一企業市民としてSDGsに取り組むことは、当然のことだと考えております。17のすべてのゴールの解決に向け推進していくことが理想ですが、当社**事業を通じて貢献すべき6つのゴールを優先課題**として据えました。特に気候変動や廃プラ問題に代表される環境問題への対応は、喫緊の課題と捉えております。CO₂削減や再生エネルギーの活用を検討するなど、社内の取り組みを一層加速させるとともに、**お客さまの環境施策に寄与する最適なソリューションを提供**してまいります。

前期より取り組んでまいりました戦略が業績にも表れ、良い方向に向かっていると確信しております。今後も新たなことへチャレンジを続けることで成長を続け、株主の皆さまのご期待に応えられるよう、鋭意努めていく所存です。当社へのより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

IPS・パッケージ本部を新設

製販一体の一貫体制で戦略的な受注体制を構築。 IPS・パッケージを収益の柱に

IPSならびにパッケージ事業における営業部門と製造部門を一つの組織として構成した、製販一体の新たな部門を設立いたしました。これにより迅速な対応や高度な生産ノウハウの構築がこれまで以上に可能となりました。より専門性を高めることで、お客さまに付加価値の高い製品をお届けし、新たな収益の柱とするべく事業を推進してまいります。

最新設備を導入し、高品質な製品をご提供



▲新たに導入された封入封緘機「EXTRUST (2号機)」



▲高速圧着加工機

IPS部門では、高速圧着機、ロール対応プリンター、封入封緘機、仕分け機といった最新設備を導入。積極的にダイレクトメールや封入封緘商材案件の獲得をめざしております。

Pick Up

「ISO9001」を再取得 (2019年9月)

品質保証体制の強化ならびに、官公庁をはじめ大手企業との契約要件にお応えすることを目的に再取得いたしました。今回製造部門に加え、営業部門でも取得。品質向上に向けた実効性の高い取り組みを推進してまいります。



サステナビリティ経営を実現するための、 包括的な企業支援を展開

サステナビリティ^{※1}経営を中核とする調査研究と情報の集積・発信を行う、サンメッセ総合研究所「Sun Messe Innovative Network Center (略称:Sinc)」を新たに創設しました。当研究所は、海外を含むさまざまな企業、組織、団体を結び、有機的なコラボレーションやオープンイノベーションを生み出すコミュニティのネットワークハブとなることをめざしております。

※1 社会・地球環境を持続可能にしていく考え方

[主な事業内容]

- 多くの企業にとって重要な課題である統合思考に基づく「サステナビリティ経営」を中心としたコンサルティング
- 国内外ネットワークを活かしたESG経営、SDGs対応の動向を踏まえた経営戦略サポート、ならびに情報開示支援
- デジタルソリューションのノウハウを活かした、新しいコーポレートコミュニケーション施策のご提案



Pick Up

株式会社博展と業務提携契約を締結

日本国内における「サステナブル・ブランド^{※2}」を運営する株式会社博展(本社:東京中央区)と業務提携契約を締結。サステナビリティ経営に関するアドバイザリーサービス『SB Japan Lab』におけるコンサルティング業務の受託を「サンメッセ総合研究所(Sinc)」が担うことで合意いたしました。

※2 2006年に米国で誕生。未来に選ばれるブランドであるために挑戦を続けるブランド・イノベーターが集う世界有数のグローバル・コミュニティ



サステナブル・ブランド ジャパンサイト
<https://www.sustainablebrands.jp/>



「サンメッセSDGs宣言」を表明

印刷を通じて培った様々なソリューションを提供し、SDGsの達成に貢献

当社は、2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に、積極的に取り組むことを宣言しました。当社事業を通じて貢献すべき6つのゴールを優先課題とし、推進してまいります。

<サンメッセの重点目標>



気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る



持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化させる



すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する



強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る



すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する



持続可能な消費と生産のパターンを確保する

当社の取り組みについては、下記より「サンメッセレポート」をご覧ください。
<https://www.sunmesse.co.jp/report/>

「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)※3」提言への賛同

気候変動対応に向けた長期的な取り組みを推進

当社はESG※4における重要課題の一つとして、「ハリヨが棲める環境への持続的取り組み」を掲げ、環境負荷低減へ積極的に取り組んでおります。今後も環境保全に関する活動を一層強化しながら、TCFDの提言を踏まえた、気候変動に関わるリスクと機会に関する情報開示に取り組んでまいります。

※3 主要国の中央銀行や金融規制当局が参加する金融安定理事会(FSB)によって設立されたタスクフォース。企業に対し、気候変動がもたらすリスクと機会などに関する情報開示を提言している

※4 環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の頭文字



企業市民の一員として地域社会と共生。 当社の特徴を生かした社会貢献活動を推進

大学の出張講座や、地域イベントへの参加など、プロボノ^{※5}活動を通じて地域に貢献しております。



デザインの
実践的なレクチャー

▲大垣女子短期大学への出張講座



紙に電流が
流れる実験

▲「未来の博士を育てる科学教室」授業を開催
(主催:公財)大垣市文化事業団様)



子どもたちが
モデルやカメラマン、
デザイナーの
仕事を体験

▲「キッズタウンぎふ」にブース出展
(主催:岐阜新聞社様)

※5 専門的な知識やスキル、経験を活かし社会に貢献する活動

多様な人財が活躍する企業を目指して

在宅勤務制度をスタート

育児、介護、傷病等により、出勤および定時時間勤務が困難と認められる社員を対象とした在宅勤務^{※6}制度を4月より本格的に導入しました。

※6 情報通信技術 (ICT) などを活用し、自宅で行う柔軟な働き方

従業員アスリートをサポート

軟式野球をはじめ、アーチェリー、ソフトボールなど、国内外で活躍するアスリートを積極的に応援しております。

茨城国体・第74回国民体育大会アーチェリー成年女子個人の一部において準優勝を収めた杉林りな選手(本社工場/製本1課)は、アーチェリーのワールドカップにも出場する日本を代表する選手として今後の活躍が期待されています。



| 財務ハイライト

売上高

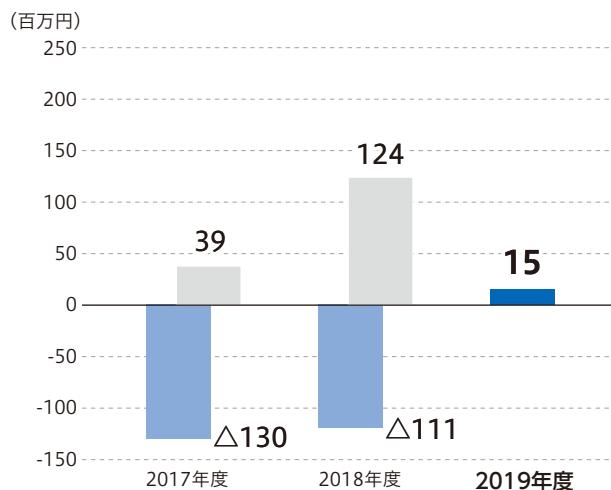
78億71百万円

前年同期比8.8%増 ↑



営業利益

15百万円



POINT

印刷事業においては、出版印刷物は減少しましたが、一般商業印刷物のカタログや圧着ハガキ、包装印刷物のパッケージなどの増加により増収となりました。また、イベント事業においては、官公庁などからのイベントの増加により増収となりました。

POINT

販売費及び一般管理費は増加しましたが、売上高の増加により売上総利益が増加したため増益となりました。

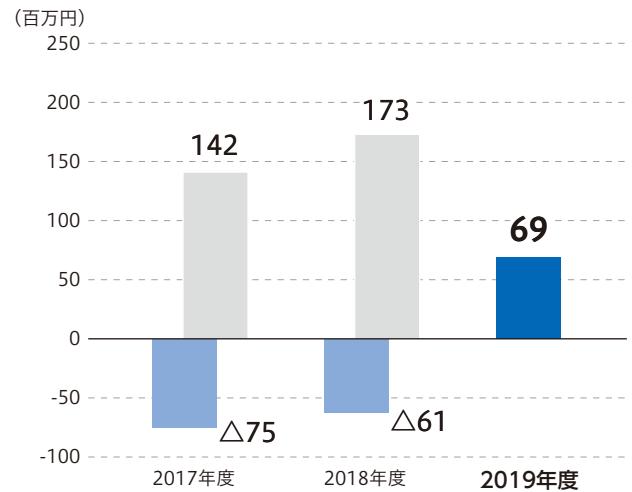
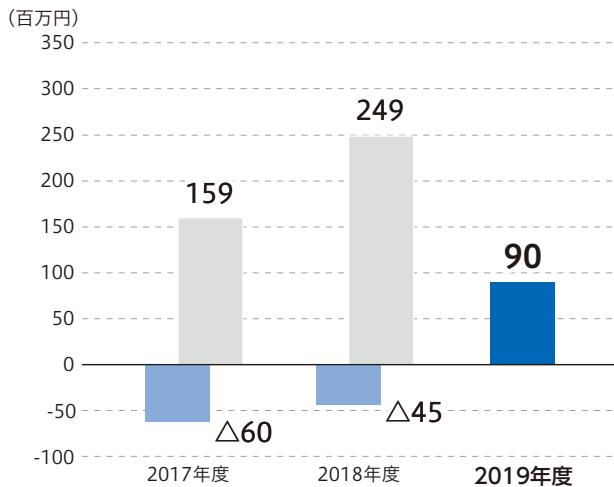
■ 上半期 ■ 通期

経常利益

90百万円

親会社株主に帰属する
当期純利益

69百万円



POINT

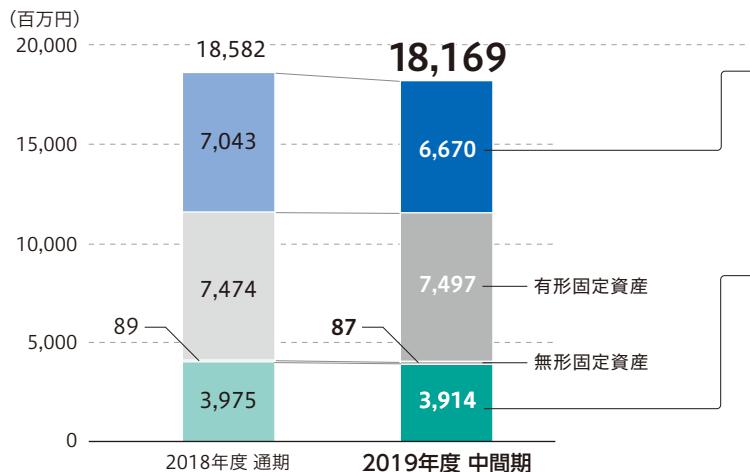
主には売上高が増加したことにより増益となりました。

POINT

法人税等は若干増加しましたが、主には売上高が増加したことにより増益となりました。

四半期連結貸借対照表 2018年度:3月31日現在, 2019年度:9月30日現在

資産の部



POINT

1 流動資産

現金及び預金や受取手形及び売掛金がそれぞれ減少したことなどにより減少しました。

POINT

2 投資その他の資産

繰延税金資産が増加しましたが、投資有価証券が減少したことなどにより減少しました。

POINT

3 流動負債

支払手形及び買掛金や短期借入金がそれぞれ減少したことなどにより減少しました。

POINT

4 固定負債

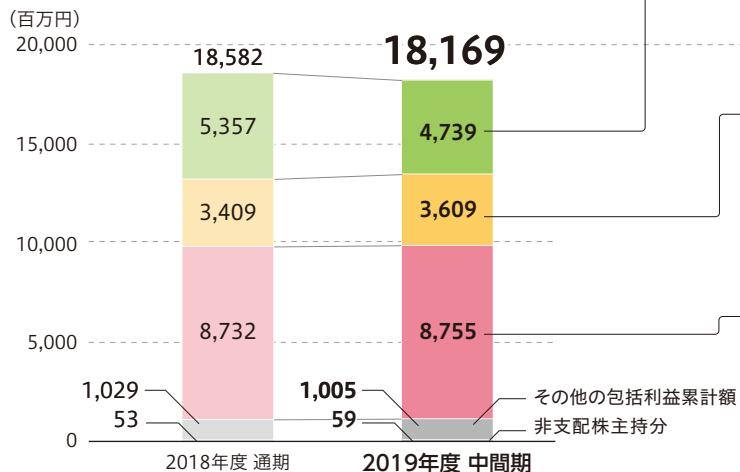
社債を発行したことや退職給付に係る負債が増加したことなどにより増加しました。

POINT

5 株主資本

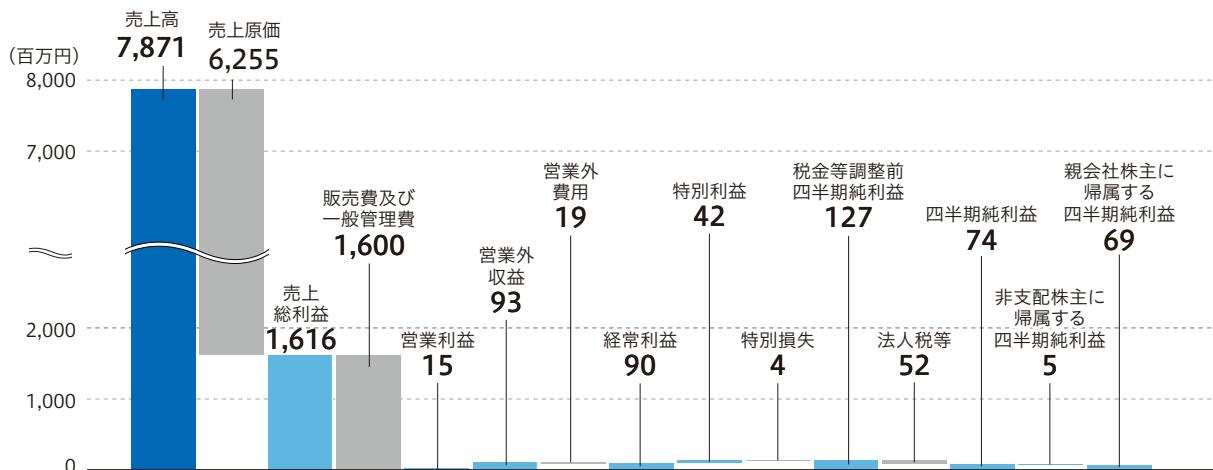
利益剰余金が増加したことにより増加しました。

負債・純資産の部



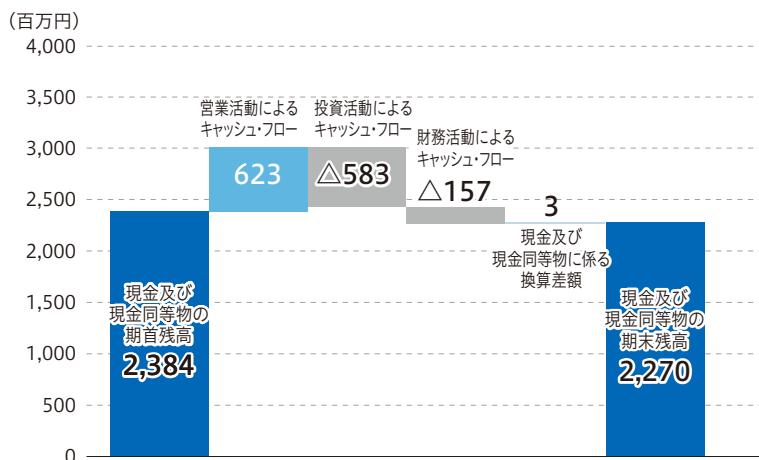
●株主資本、その他の包括利益累計額、非支配株主持分を合わせて純資産となります。

四半期連結損益計算書 2019年4月1日～2019年9月30日



四半期連結キャッシュ・フロー計算書

2019年4月1日～2019年9月30日



中間配当について

2019年11月1日開催の取締役会において、2019年9月30日の最終の株主名簿に記録された株主又は登録株式質権者に対して行う中間配当金の支払いにつき、次のとおり決議いたしました。

中間配当金
1株につき **3円**

効力発生日並びに支払開始日
2019年12月10日

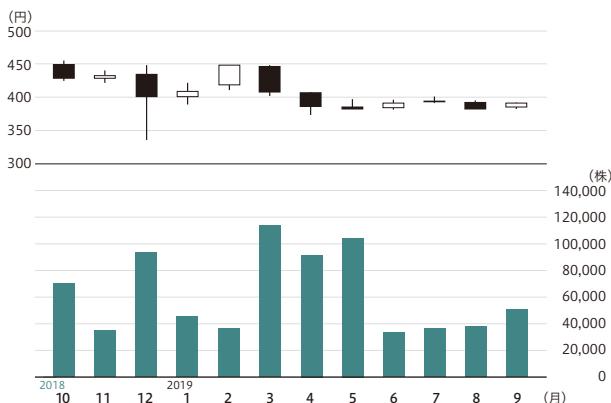
株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数 **60,000,000株**

発行済株式の総数 **17,825,050株**

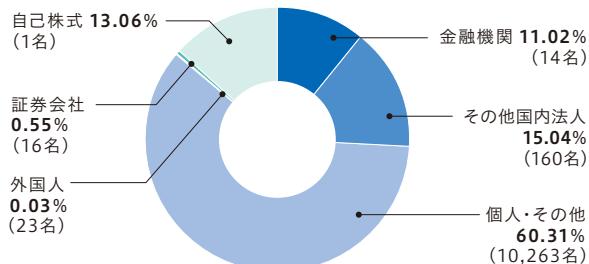
株 主 数 **10,477名**

株価推移

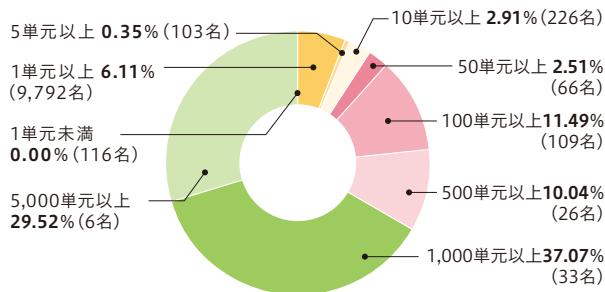


株式分布状況 (注) 比率は小数点以下第三位を四捨五入しております

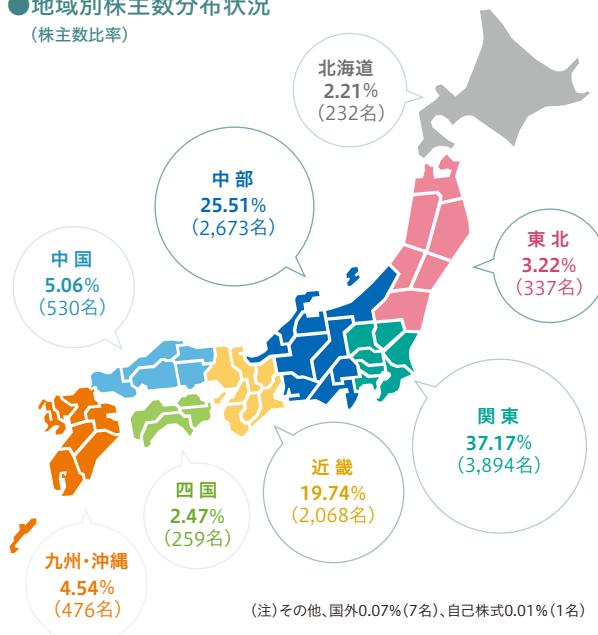
●所有者別株式分布状況(株式数比率)



●所有数別株式分布状況(株式数比率)



●地域別株主数分布状況(株主数比率)



会社概要 (2019年9月30日現在)

商号	サンメッセ株式会社
設立	1946年9月20日
資本金	1,236,114千円
従業員数	709名(連結727名) ※嘱託、パートは含まれておりません。

主要な事業内容

一般商業印刷を中心に出版印刷、包装印刷を営む総合印刷会社。
企画、デザイン、製版、印刷、製本、製袋等に至る設備を有し一貫生産。チラシ制作支援等のシステム開発、セキュリティ、衛生管理を徹底したサービスを実施。印字、封入、封函を行うDPS(デジタルプリントサービス)やPOD(プリントオンデマンド)を強化。WebサイトやDVDなどのコンテンツ制作等の企画開発。

本社および事業所 (2019年9月30日現在)

本社	岐阜県大垣市久瀬川町7丁目5-1	
支店	東京支店(東京都江東区) 大阪支店(大阪市中央区) 岐阜支店(岐阜県岐阜市)	新宿支店(東京都新宿区) 名古屋支店(名古屋市中区)
営業所	三重営業所(三重県四日市市) 静岡営業所(静岡市葵区) 愛岐営業所(愛知県一宮市)	滋賀営業所(滋賀県彦根市) 京都営業所(京都市下京区) 岡崎営業所(愛知県岡崎市)
工場	本社工場(大垣市)・中工場(大垣市)・西工場(大垣市)	
関係会社	日本イベント企画株式会社(岐阜県大垣市) サンメッセタイランド株式会社(タイ王国バンコク市)	

役員 (2019年9月30日現在)

取締役 会長	※田中良幸
取締役 副会長	※田中勝英
取締役 社長	※田中尚一郎
取締役	水谷和則
取締役	今井稔
取締役	伊東覚路
取締役	竹林啓勝
取締役	橋本之司
取締役	千代耕司
取締役	衣斐輝臣
取締役	由良直義
取締役	田中義一
取締役(監査等委員)	松井巖
取締役(監査等委員)	長屋英機
取締役(監査等委員)	石岡秀夫

(注)
※は、代表取締役であります。
松井巖氏は、常勤の監査等委員であります。
長屋英機および石岡秀夫の両氏は、社外取締役であります。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
定時株主総会基準日	毎年3月31日(議決権行使株主確定日)
期末配当基準日	毎年3月31日
中間配当基準日	毎年9月30日
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 *公告掲載のホームページアドレス https://www.sunmesse.co.jp/

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国本支店で行っております。

[お知らせ]

■株式に関する住所変更等のご照会及びお届出について
株式に関するお手続(住所、姓名などの変更、配当金の振込方法・振込先の変更、単元未満株式の買取請求など)のご照会及びお届出につきましては、取引証券会社にお問い合わせ下さい。

なお、証券会社で口座を開設されていない株主様は、左記の三井住友信託銀行にお問い合わせ下さい。

■配当金のお受け取り方法について

配当金領収証による受領方式及び配当金振込口座指定方式に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で保有しているすべての銘柄の配当金のお受け取りや証券会社の口座でもお受け取りができます。お手続きにつきましては、取引証券会社にお問い合わせ下さい。

なお、証券会社で口座を開設されていない株主様は、左記の三井住友信託銀行にお問い合わせ下さい。

■未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行にお問い合わせ下さい。

ホームページのご案内

サンメッセのホームページでは、企業情報などに関する詳しい情報をご覧いただけます。
IR情報(投資家様向け情報)やCSR等の取り組みを詳細に紹介した統合レポート(Web版)にも、
ダイレクトにアクセスいただけますので、どうぞご利用下さい。

IR情報サイト

<https://www.sunmesse.co.jp/ir/>

統合レポートサイト

<https://www.sunmesse.co.jp/report/>



株主優待について

毎年3月末日現在の当社株主名簿に、記載または記録された100株以上保有の株主様を対象に、年1回一律1,000円分のクオカードを贈呈しています。

当社オリジナル
クオカード



※写真はイメージです。



JQA-EM1779
本社・本社工場
中工場・商工場



JQA-IM1480
本社 第五工場



JQA-QM3742



19000127



環境にやさしい水なし平版
印刷を採用しています。



環境に配慮した植物油
インキを使用しています。



この印刷物を作成する際に排出されたCO₂1,891kg(1部当たり171.9g)は、カーボンフリーコンサルティング株式会社を通じて、環境省で認証されたオフセットクレジット(L-VER)(岐阜県産)によりカーボンオフセットしています。この印刷物のカーボンオフセットを通じ、地球温暖化防止に貢献すると共に、地元の森を守る活動を支援しています。



人・物・情報を集積・発信 印刷を核に、情報社会に貢献します

サンメッセ株式会社